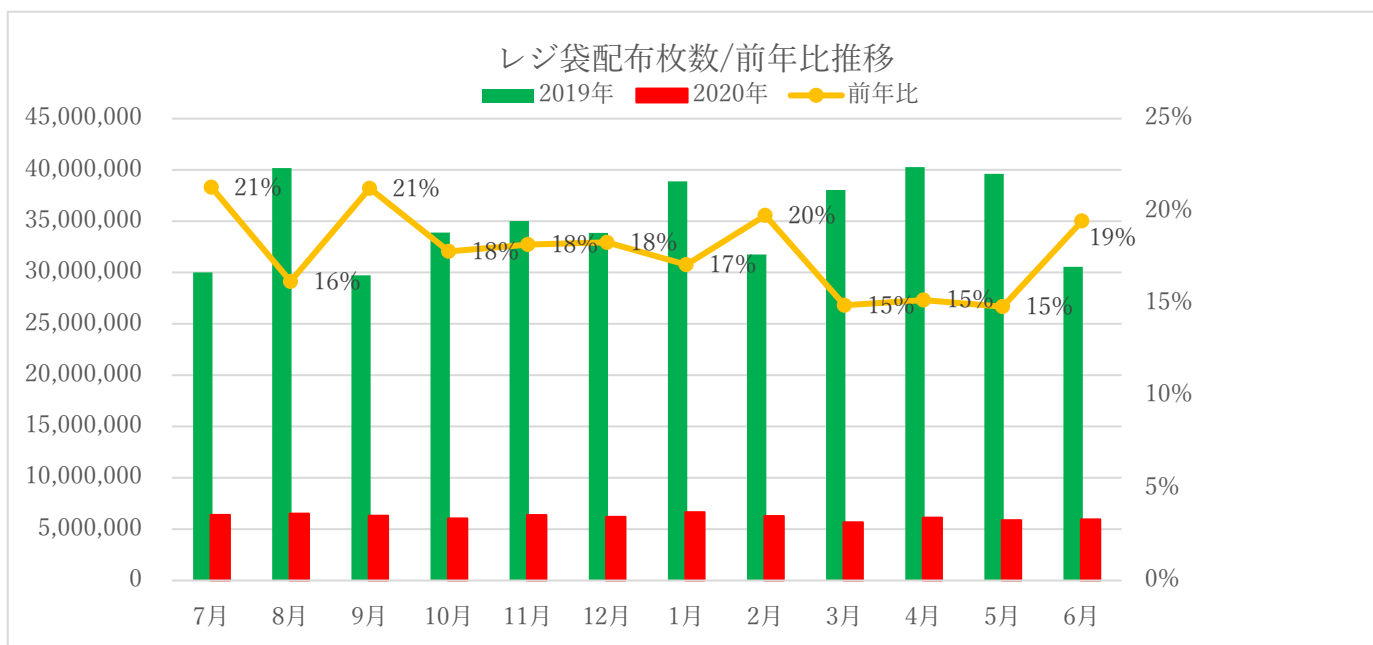


レジ袋有料化1年間によるレジ袋削減実績及びCO₂削減効果について

株式会社ツルハホールディングス（本社：札幌市東区、代表取締役社長：鶴羽 順）は、2020年7月1日から開始したレジ袋有料化から1年間のレジ袋削減実績とそれに伴うCO₂の削減効果を集計しましたのでお知らせいたします。

1. レジ袋削減実績

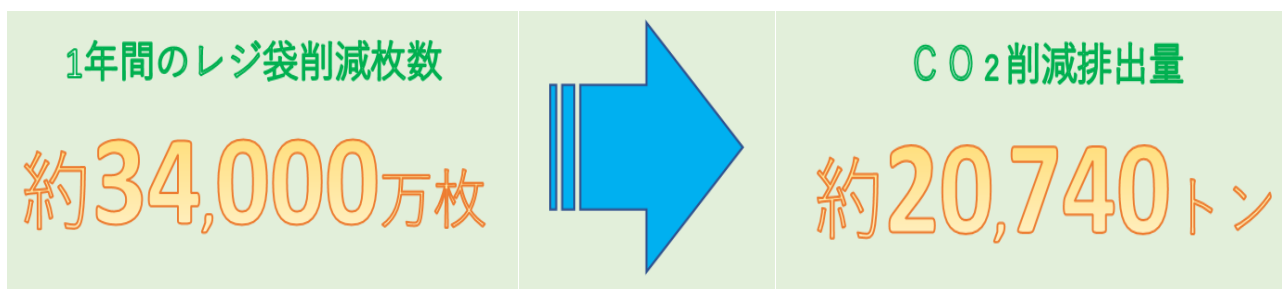


2020年7月1日から2021年6月30日までの1年間で、当社の店舗でお客様にご提供したレジ袋の実枚数は7400万枚となり、前年より約3億4000万枚のレジ袋を削減できました。（前年比＝22% 2013年比＝36%）

削減に伴いレジ袋の辞退率も82%まで上昇しお客様のご協力（エコバックのご持参、レジ袋のご辞退）により削減できた数値となります。

2. レジ袋配布削減枚数＝CO₂削減排出量

レジ袋有料化後、当社グループ店舗にて削減できたCO₂排出量は約20,740トンにのぼります。

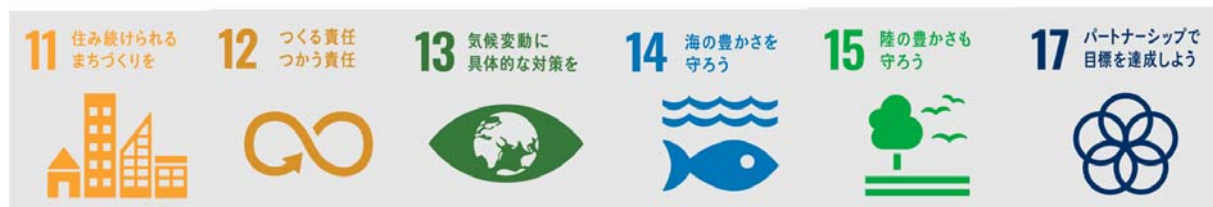


（CO₂削減排出量は、レジ袋削減枚数と同じ）

※レジ袋1枚10gを1回使用して焼却する場合、製造する際のCO₂排出量は30g、焼却する際のCO₂排出量は31gであり、合計61gのCO₂が排出される計算です。（省エネルギーセンターHP）

これからもツルハグループは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、温室効果ガス（CO₂等）排出削減に取り組み、2050年までに店舗で排出するCO₂等総量ゼロを目指して行きます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ツルハグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています